

## 「なつのだより」作付けによる早期水稻の収穫期早進化

農業研究センター 天草農業研究所

### 研究のねらい

現在天草地域における早期水稻は「コシヒカリ」を主要品種として栽培されてうるが、収穫期のさらなる前進化を検討するため、「なつのだより」の栽培試験及び温度データの解析を行い、移植期出穂期及び成熟期の早期を明らかにした。

### 研究の成果

1. 「なつのだより」の栽培により、「コシヒカリ」に比べ出穂期及び成熟期を約9日早進化できる。
2. 4月6日の移植により4月17日に比べ、出穂期及び成熟期が約5日早進化する。
3. ポット成苗の移植により稚苗に比べ約5日早進化する。
4. 温度条件を考慮すると移植の早限は、平年の平均気温が13度を越える4月2半旬にある。
5. 温度条件を考慮すると出穂期の早限は、平年の最低気温が出穂の10から14日前に17度を越える6月6半旬にある。
6. 天草地域の早期栽培の早限は、「なつのだより」を4月2半旬に移植することによる、6月6半旬の出穂期であり、7月6半旬の成熟期である。
7. 水田の水掛かりや陽当たり等立地条件の違いに留意する。
8. 標高の高い地点での栽培には本限界は適応できない。
9. 危険分散のため他品種と組み合わせて作付けを行う
10. 生育量不足に因る収益の低下を避けるため、十分な生育量を確保するよう肥培管理に留意する。

表1 「なつのだより」の予想出穂期

移植期	なつのだより				コシヒカリ
	ポット成苗	中苗	稚苗	乳苗	ポット成苗
3/27	6/24	6/24	6/28	6/29	7/2
4/6	6/26	6/26	6/30	6/30	7/4
4/16	7/1	7/1	7/5	7/6	7/9

(注) 育苗方法

ポット成苗：50g/箱、ポット苗：30日育苗  
 中苗：100g/箱 散播 30日育苗  
 稚苗：180g/箱 散播 20日育苗  
 乳苗：200g/箱 散播 12日育苗  
 催芽後ビニールハウス内(2重被覆)で育苗

表2 移植期別玄米収量

平成2-4年の平均値kg/10a

移植期	玄米収量
3/27	447
4/6	444
4/16	431

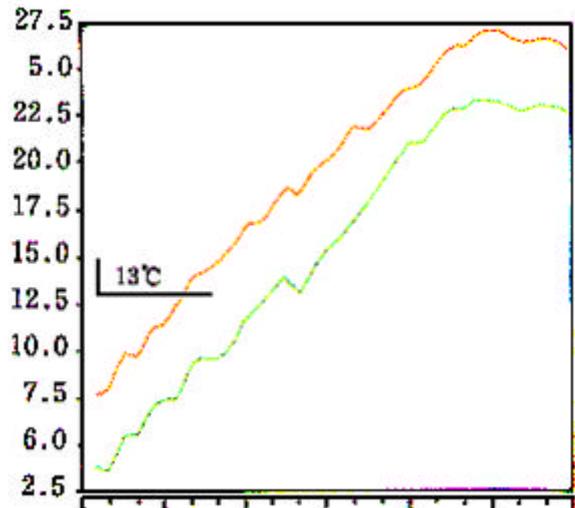


図1 平均気温(11年間平均値)及び最低気温(月)の平均値の推移

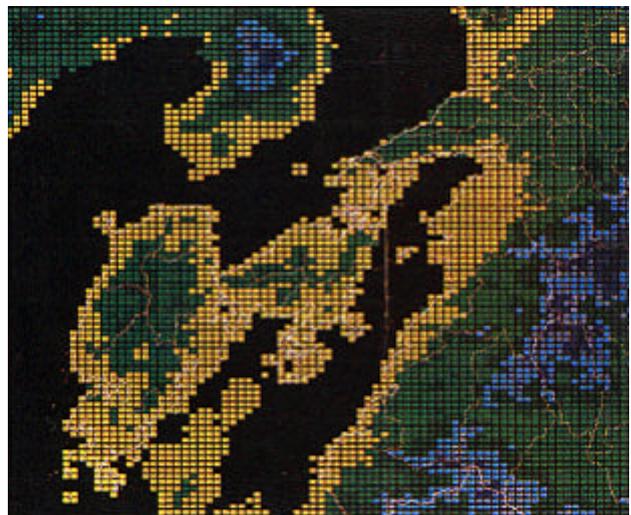


図2 4月5日における平年の平均気温の分布図  
(黄色は13以上の気温)